

東北と大阪を繋ぐ情報紙



発行 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
大阪市ボランティア・市民活動センター
住所:〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町 12-10
大阪市立社会福祉センター内
Tel: 06-6765-4041
Fax: 06-6765-5618

協力 大阪市各区社会福祉協議会

様々な世代が集った交流会

8月7日、城東区社会福祉協議会を会場にボランティアが企画の中心となり避難者交流会「Café IMONIAKI 夏休みイベント」を開催しました。

事前に避難者から直接お話を伺い、「子どもたちにも楽しんでもらえる合にしたい」「お母さんにくつろいでもらいたい」そんな、それぞれの“想い”が“形”となって当日を迎えました。

ボランティアを含め、小さい世代からおじいちゃん・おばあちゃんまで幅広い世代が集い、アロマの香りで癒され、折り紙や手遊びを通して交流が深まりました。

保育ボランティアの方々や、地域で活動しているソーラン節グループも協力してくれました。

ある避難者は大阪に避難してきて間もない頃、お世話になった保育ボランティアと、偶然の再会があり喜んでいました。

また、ボランティアの高校生は、参加した子どもたちと年齢も近く、水鉄砲や影絵当てを通して遊ぶなど、とても楽しい時間となりました。



念願の水鉄砲遊び。屋上でおいきり走りまわりました



この後、うちわに好きな香りをつけて扇ぎます

参加者の方からは、「息子もたくさんの経験をさせていただき、みなさんとお話しさせていただくことで私も元気をもらいました。感謝です」との声がありました。今後も避難者の方々やボランティアの声を活かしたイベントを開催していきます。

方言の交差点

—東北弁と大阪弁が出会う場所—

飴のことを東北では「飴ツコ」と呼びます。といっても、東北の南部ではあまり使わないようです。関西では「飴チャン」ですね。おばちゃんの必須アイテムと言われていますが、学生たちも使うので、おばちゃん専用の言葉ではなさそうです。「飴ツコ」の「コ」や「飴チャン」の「チャン」は、指小辞（ししょうじ）の一種で、小ささや愛情を表します。実は沖縄でも飴に指小辞を付けます。沖縄では飴を「アミ」と言いますが、

指小辞「グワー」を付けて「アミグワー」と言います。

飴に指小辞を付けるのは、日本語だけではなく、ルーマニア語でも飴に指小辞を付けて、「bombonica」（飴は「bomboana）」と言います。

飴に指小辞を付けるのは、飴を提供する側が相手と友好的な関係をつくるためだと考えられています。飴をあげたいという優しい気持ちが指小辞には込められているのです。

【方言募集】 ※方言に関するご質問・ご意見をお寄せください。

住所:〒567-8502 大阪府茨木市西安威 2-1-15 追手門学院大学

E-mail: yukushib@otemon.ac.jp

追手門学院大学国際教養学部講師 榎引祐希子



Café IMONIKAIからのお知らせ

10月より、Café IMONIKAI の開催曜日が変更します。

おぼえておいてね♪
第4水曜日⇒ 第4火曜日

おまちがえないように☆

東日本大震災「こころのケア」ボランティア支援 無料 被災者・ご家族向け 訪問カウンセリング

「よく眠れない」
「なんとなく気がふさぐ」
「慣れない土地で話し相手がない」
「将来に不安がある」など
ひとりでも悩まず、どんなことでもご相談ください。

※相談は無料。
プライバシーは
固く守られます。

お問合せ・ご利用申込み
06(4963)2357

情報紙「IMONIKAI」50号記念

ラジオ出演しました☆

2011年、東日本大震災の年の6月に創刊した情報紙「IMONIKAI」。これまで避難者のみなさまに様々な情報をお届けしてきましたが、2015年7月号に50号を迎えました。それを記念してNHKラジオ「県外避難のみなさんへ」に出演、放送は7月27日（月）でした。その中で、情報紙を通じて届くみなさんの声や反応をご紹介。また、情報紙の発行を含め、これからも長く支援を続けていきたいことをお伝えしました。



関西ラジオワイド
「県外避難のみなさんへ」
NHK ラジオ 第一放送 666mhz
毎月最終月曜日 夕方5時台

問合せ
申込み

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
大阪市ボランティア・市民活動センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 12-10
TEL: 06-6765-4041 / FAX: 06-6765-5618
Email: imonikai@osakacity-vnet.or.jp (担当: 赤星・大森)
《利用時間》 月～金曜 9:30～20:30
土曜 9:30～17:00 (日曜・祝日及び年末年始休館)

☆情報紙 IMONIKAI は毎月1日発行です。
情報掲載希望の方は、2か月前までにご連絡下さい

交流会 9月 Café IMONIKAIのご案内

毎月第4水曜日開催の交流会です☆
お茶を飲みながら、みんなでゆったりお話ししましょう。途中参加、途中退室は自由です。当日参加も大歓迎です。
☆保育を希望される場合、事前予約をお願いします。



相談できるよ
心のケア専門員
避難当事者団体

経験豊富な専門家が、ゆつくりじっくり話を聞いてくれます。お気軽にどうぞ♪

当事者目線で相談できます。
リフレッシュしましょう♪
※お手伝い参加してくれる方も募集中!

ご注意!
9月の第4週は
祝日の為、第5週
に開催します。

日時: 9月30日(水)
10:00～15:00 ※昼食は各自でご用意ください。

場所: 大阪市立社会福祉センター 3階
(地下鉄「谷町九丁目」駅、近鉄「大阪上本町」駅 11番出口)

参加者募集! 座談会でおはなししましょう♪

「毎日の暮らしからつながる 女性と防災」

災害時に女性が抱えやすい困難等を知ることによって、女性の視点・立場から防災・減災を考える講座です。講座後の座談会で、東日本大震災をうけて避難されてきたみなさんの経験をお話いただけませんか? 経験から学び、知恵の輪を応げたいと考えています。1回限りの講座で終わらせるのではなく、このつながりを大事にし、今後の防災に活かしていきます。みなさんのご参加をお待ちしています。

日時: 9月26日(土) 10:00～12:00
場所: 生野区在宅サービスセンター おかちやま 2階多目的室
(大阪市バス「生野区役所前」停留所下車 北へ2分)

参加費: 無料

内容: 女性と防災をテーマに講座と座談会

定員: 20人 (定員に達し次第締め切り)

対象: どなたでも ※事前申し込み必要

申込み: 大阪市生野区社会福祉協議会 (担当: 吉田)

問合せ: ☎06-6762-3101

締切: 9月19日(土)



編集後記 以前住んでいた田舎では、仕事から帰って来ると、玄関先にそと季節のお野菜が置かれていることがありました。近所に住んでいる大家さんです。春は掘りたてのたけのこや、うどにたらの芽、初夏のみょうが、そして秋は栗・とりわけ栗は絶品でした。大家さん自慢のその栗の木は、大きく立派な古い木で、とても大事にされていました。イノシシ除けに夜通しラジオを鳴らし、朝はイノシシより早く起きて栗拾い。大家さんの期待に応えるかのように、ぶつくりふくれてつややかで、どれも大きく立派な栗でした。「ほくほくして栗みたい」の栗とはこういうことか! と感動するおいしさでした。(あかほし)





情報掲示板

お得なご招待や日々の暮らしに役立つ情報など



団体紹介

ホッとネットおおさか登録団体を、毎月一団体ずつご紹介いたします。

子どもたちに未来をわたしたい・大阪の会

大阪市東住吉区で「保養の家」を開いています。



布団にレイコップ(ふとん用掃除機)をかけてお迎えの準備をしているところです。

放射能汚染地域で暮らさざるを得ない子どもたちが、学校の長期休暇を利用して関西で過ごせるように、すぐに生活できる状態にした家をお貸しするだけのささやかな取り組みです。体内の放射能除去のためには、スタッフを揃え、食事などに配慮し、スケジュールの組まれたキャンプが不可欠ですが、乳幼児の親や中高生などからは自分たちのペースで気兼ねなく過ごせる場所も求められています。

との交流をしたい、甲状腺検査をしたいなどの要望も出ています。乳幼児などで通学・通園の必要がなければ、長期休み以外でも利用していただけます。お知り合いにご紹介ください。

現在は1軒だけで、今夏は6家族を受け入れる予定です。希望が集中し、最長1週間で日程を都合しあつての貸し出しになりました。利用者は福島県だけでなく首都圏にも広がっています。最近、保養中に既に避難している方

会では福島県内の児童施設との交流や学用品、生活用品などの物品支援もしています。5月に菖蒲の葉、12月に柚子を送るのも恒例になりました。

また、福島県内で保養に取り組む「ぼかぼかプロジェクト」の支援も続けています。



連絡先

子どもたちに未来をわたしたい・大阪の会

TEL:090-2354-8829 E-mail:dpjvr410@kawachi.zaq.ne.jp (橋本)

福島里帰りの旅



ぜひ被災者の方に使ってほしいと、心ある方からいただいた特別宿泊券のプレゼント(本誌第47号に掲載)。それを使って福島に里帰りされた方から、お礼の手紙をいただきました。

半年ぶりの帰郷

7月上旬、娘さんとともに2日間里帰りされました。『約半年ぶりの我が家、墓をみてきました。といっても我が家は居住制限区域、お墓は帰宅困難区域なので、合計しても2時間も滞在できませんでした…』

お墓参りをする、すなわち帰宅困難区域に入るには、浪江町役場に書類を申請しなければなりません。現在、浪江町は、二本松市に業務のほとんどを置いている為、常駐している職員はわずか数人だそうです。そのため、『大きく立派な役場なのに、閑散としていて淋しい』…

『我が家は行く度に枯れていくかんじで…庭はジャングル化(笑)しています。何か生きものが出てこないかと、自宅でありながらカギを開けて扉を開く瞬間がいちばん怖いです。それでも主人の墓参りを娘といっしょにすることができ、気持ちも楽になりました。』と、その時の写真を

お墓参りのようす

庭はジャングル化(笑)

同封いただきました。

まだまだ帰れない…

レンタカーで、郡山から浪江へと開通したばかりの常磐道を走った時のこと。そこに設置されている線量計は、『いきなり高い数値』でした。『やはり原発が近いため？この値の所を開通させ、一般に通行していいの？』と思い、『まだまだ帰れない』と実感されたそうです。

気になるお宿は…？『大変すばらしく、温泉も久々につかった』とのこと。最近大阪で働きはじめた娘さんとの里帰りの旅。お互いに仕事で忙しい日常を忘れ、共にゆっくり過ごして話をし、福島の人にも会っての有意義な旅となったようです。『このような機会をいただき本当に有難うございました』とたくさんのお礼の言葉が、お手紙にちりばめられていました。このようなプレゼントをいただいたこと、当センターとしても感謝いたします。



『この地点の放射線量 5 マイクロシーベルト/時』

ご招待

特別展 「海峡を渡る布

はつじろう 初公開 山本發次郎染織コレクション ふたつのキセキ

大航海時代、それは世界の人とモノが海で繋がり、文化が巡る時代の幕開け - インドで作られた色鮮やかな布が海峡を渡ってゆきました。

この展覧会では、日本に伝来するインド・東南アジア染織コレクションの中では、最も早い時期に収集されたものを初公開します。昭和20年の空襲から“奇跡”的に罹災をまぬがれたコレクションの全貌と、その“軌跡”に迫ります。



インド更紗 大阪新美術館建設準備室蔵

会期: 9月9日(水)~10月18日(日) 9:30~17:00

※会期中の金曜日は20:00まで

※ただし、入館は閉館30分前まで

休館日: 火曜日 ※9月22日(祝)は開館、9月24日(木)は休館

場所: 大阪歴史博物館 6階特別展示室 (地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅2号・9号出口)

ご招待: 3組6人(抽選)

締切: 9月24日(木)正午

※当選の場合は、9月25日頃に、チケットを発送します。

ご招待

二科展 第100回記念

「伝説の洋画家たち 二科100年展」

日本三大公募展の一つ「二科展」。二科展を主催する二科会は、常に新しい傾向の作風を吸収し、日本の美術史上に名を残す才能を次々と輩出してきました。

本展覧会では、常に時代を先取りしてきた二科展の100年の歩みを4期に分け、厳選された作品を時代背景やエピソードを織り交ぜながら紹介。伝説の洋画家たちの名作を一度に鑑賞できる貴重なチャンスです。



会期: 9月12日(土)~11月1日(日) 9:30~17:00 (入館は16:30まで)

休館日: 月曜日、10月13日 ※ただし、9月21日、10月12日は開館

場所: 大阪市立美術館 (近鉄「大阪阿部野橋」駅またはJR地下鉄「天王寺」駅よりすぐ)

ご招待: 3組6人(抽選)

締切: 9月24日(木)正午

※当選の場合は、9月25日頃に、チケットを発送します。

ご招待

へのお申込みは…



大阪市ボランティア・市民活動センター (担当: 赤星・大森) (電話・メールにて、全員の名前・住所・TELを添えて)

どいどい 応募してね!



参加者募集!

国際交流のお祭り 「四天王寺ワッソ」

1400年前の大阪と韓国・東アジアの交流を、当時の衣装を着て再現するお祭り「四天王寺ワッソ」。美しい古代衣装を着て、パレードに参加しませんか?

アジア各国の料理が堪能できる屋台広場や、日本やアジアの物産品販売、親子で楽しめるイベントがたくさんのお祭りです。

日時: 11月1日(日) 10:30~17:00

場所: 史跡なにわの宮跡 (地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅10号出口よりすぐ)

参加費: 無料

申込み: NPO法人 大阪ワッソ文化交流協会

※詳細はホッとネットおおさか定期便前号(8月)のチラシをご覧ください。ワッソHPからも登録可能: http://wasso.net

問合せ: ☎06-6371-8703 (担当: 歌川)

※「IMONIKAIを見た」とお伝えください。

締切: 9月18日(金)午前中

※登録後、案内状で連絡させていただきます。

ご招待

日本最大級の巨大フードフェスティバル 「まんパク in 万博2015」

日本全国のグルメが集まる食の祭典「まんパク」。昨年は、5日間で10万人近くが来場した人気のイベントです。今年も、ラーメン、からあげ、海鮮、肉料理、スイーツなど全国から約80店舗が参加、特に人気の海鮮スペースを拡大! たらば蟹やまぐろの三色丼、その他、地域の食材を使った絶品グルメもズラリ勢ぞろいします。



会期: 10月3日(土)・4日(日) / 9日(金)~12日(月・祝) 10:00~18:00 (公園入園は16:30まで)

場所: 万博記念公園 東の広場 (大阪モレール「万博記念公園」駅より徒歩7分)

※別途、以下の公園入園料が必要です。

公園入園料: 大人(高校生以上): 250円 小中学生: 70円

ご招待: 3組6人(抽選)

締切: 9月24日(木)正午

※当選の場合は、9月25日頃に、チケットを発送します。



ロンまるごて クリームソーダ



メガロース ビーフ丼